

令和2年度入試 受験体験記 Vol.2

- ①後輩へのアドバイス
- ②受験勉強を終えて思うこと
- ③第一志望校の決定時期とその経緯、それに向けた計画の立て方、反省点など
- ④部活動等との両立における工夫(気持ちの切り替え、時間の使い方など)
- ⑤受験を振り返って (各教科の学習法、おすすめ参考書など)

<<文系>>

大阪大学 外国語学部 朝鮮語学科 前期合格

①モチベーション：

自分が好きなことを学べる大学を選ぶこと

ストレス解消法：

ペット(犬)と遊ぶ、友達とおしゃべり、しっかり睡眠をとる

取り組んでよかったこと：

世界史は年号を語呂合わせで覚えること(センター試験で特に大切)(志望学科は2次試験で世界史の記述あり)

漢文をひたすら暗記する(文法、読み方、意味)

英語はターゲットだけでは足りなかったため、英検準1級の英単語を覚えた

②1年生の時進路を工学部から外国語学部に変えたので、母親ははじめ困惑したと思う。しかし、自分の進路を尊重して応援してくれて、色々な大学を調べてくれてありがたかった。

③元々工学部志望で広島大学のオープンスクールに行って、自分のしたいことが4年間で2パーセントくらいしかできないことがわかった。中学校から韓国語を勉強していたこともあり、大阪大学外国語学部朝鮮語学科に決めた。1年生の時は、まったくのレベル不足だったので高1の1月くらいから英単語を覚えることから始めた。

④電車や市電など、移動中に暗記物をする。家に帰って、この時間までには勉強するは勉強すると決める。しんどい時は無理せずに寝る。

⑤【英語】

パス単英検準1級→外国語/国際/学部、難関大学志望者にお勧め

前期にもリスニングがあったので、毎日TED、CNNニュース、有名人の演説のどれかを字幕なし×2、英語字幕×1、日本語字幕×1、字幕なし×1で聞いた。3分くらいの短いもの、長い演説などは3分で区切って続きは次の日に回した。

愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科フランス語圏専攻 前期合格

- ①・一緒に勉強したり、模試の点数を勝負したり、自分のモチベーションを高めてくれる友達を作ることがとても重要だと思いました。
 - ・休憩時間に友達と何気ない会話で笑うことが、受験シーズンの気分転換になりました。
- ②勉強に集中できる環境を作ってくれた家族には感謝しています。クラスのみんなも、受験が終わった人や、進路が決定した人も、ほかの人たちに配慮してくれていて、舟入でよかったと改めて思いました。
- ③センター試験が思うようにいかず、出願校に迷いましたが、行く大学よりも大学でやりたいことへのこだわりが強かったので、出願校を変えました。

⑤【英語】

センターも二次もひたすら過去問を解きました。そのときわからなかった単語や熟語を一冊の単語帳にまとめることで見直しがしやすかったです。音読することは英文に慣れたりリスニングの対策にもなったりするので良かったです。

【国語】

二次の国語は過去問や学校の問題集を解きました。解き終わったら答え合わせと同時に解答の手がかりとなった文章はどこなのかマーカーで本文に線を引いたりキーワードに印をつけたりしました。この方法は英語でも実践しました。

広島大学 医学部 保健看護学科 前期合格

- ①・絶対に継続してやるべきことは英単語、熟語、文法の復習。少しでもさぼると結果になって自分に返ってくる。たださぼってもないのに模試の点が下がる時がある。心が折れそうになるが、あきらめずに続けると、点が伸びます。(いつかは)
 - ・とにかくあきらめないことが一番大事。判定がいくら悪くても志望校を変えるな！自分がやっていることは正しいと信じるしかない。
- ②・休日に学校で勉強するのはすごくよかった。先生も友達もいるので勉強の環境はいいと思う。特に同じ志望校の友達はよきライバルであり、一番相談しやすい人だった。
 - ・親や友人など多くの人が様々な面で自分を支えてくれることを忘れては終わりです。受験は一人では乗り越えられない。
- ③高1のときから志望校は変えていない。数学はもっと早いうちから勉強を始めておけばよかった。
- ④部活後の時間や早朝など空き時間で勉強する習慣を早いうちから身に付けるべき。
- ⑤【日本史】

日本史の昼補習の解説で使われた資料集の図や文章に何度も印をつけておいた。模試前はたくさん印のついた個所を勉強した。押えるポイントがはっきりします。

【国語】

現代文は何をすればいいかわからなかったが、とにかくセンターの過去問と問題集をやりまくった。センター用の問題集でも、選択肢を隠してまずは自分で答えを作ってから選択肢を見るという解き方をすれば、二次試験にもつながる勉強になります。

<<理系>>

大阪大学 理学部 物理学科 前期合格

- ①ストレスがたまらない程度に勉強する。基本をおろそかにした勉強をしていると後々大変になる。受験が近づくと基本的なことがいかに大切であるかが分かるようになってきていた。というのもいろいろな問題も基本的なものの積み重ねとなっているから土台がしっかりしている人は安定感が出る。そういう意味で小テスト、課題で出る基本的な問題もおろそかにしないのはとても重要です。
- ②自分はとても楽観的なので勉強に取り組む姿勢も他の人と違って不真面目に見える時があります。そんな自分を見守ってくれたあたたかい友人や家族や先生の存在があったことが自分にとってはとても大きいことでした。
- ③自分の学びたい学問で有名かつ興味がある教授がいたから。少し遅いかもしれないが決めたのは夏前。大学ごとに問題も特徴があるからそれに対して勉強法も変化すると思う。
- ④クラブ活動はしていない。すればよかったかなと思う。勉強はいつでもできるけど部活は限られた時間でしかできないものだから。
- ⑤【数学】

入試直前に頭の動かし方を体で習得しようという思いで過去問10年分の復習と阪大理系数学をながめる感じでやっていた。

広島大学 医学部 保健看護学科 前期合格

- ①私はまず、スマホを制限するために友達に「スクリーンタイム」のロックをかけてもらいました。本番1週間前ぐらいは友達とスマホを交換し、LINEしか使えない環境にし、勉強に力を入れました。このことは早い時期から勉強を習慣にしてくれたと思います。私は塾に通っていないので、学校と個人の力で勉強しました。朝は学校の一番乗りを争う戦いに参加し、学校で2時間勉強しました。授業はどの科目も寝ずに板書と自分の言葉でのメモを徹底しました。放課後は学校や図書館で勉強し、通学の移動中もスマホアプリを使って勉強しました。これらのことを持続的に行うことは、忍耐力も身につけてくれたと思います。また、私のモットーは「使えるものは全て使え」であり、補習や友達からの情報、先輩方の教材など全て使いました。教材を自分で購入する人もいますが、もっている教材を完璧にしていけないのに新しい教材に手を出すべきではないと思います。

②一緒に勉強してくれる友達がいたり、空き教室を貸してくれる先生方など、勉強環境はとても整っていたと思います。

③中学校の時に看護師になりたいと思い、舟入→広大→就職という人生計画をたてました。そこから目標に向かって勉強できたことがよかったのではないかと思います。

④水泳部

私は水泳部に所属していました。7月下旬まで部活動があり、他の部活動の人より引退が遅かったのですが、そうなることを知っていたので、2年生の冬ぐらいから勉強に積極的に取り組みました。また、先生方がよく「部活で頑張れた人は勉強も頑張れる」とおっしゃっていたので、私はこの言葉を信じて勉強しました。

⑤【英語】

「グリーン」の英文を全て日本語訳した。一度に多くやるのではなく、毎日コツコツと計画的にやる。前期の英作の勉強では、「構文 150」を毎日やり、週一で過去問などを解き、先生に添削してもらった。英語は、毎日一定量触れることが大切。

【数学】

私は数学が苦手だったので、センター対策では過去問を買ってひたすら解いた。前期も数Ⅲが加わって勉強量が増えたけど、それが逆に勉強の糧となり、いっぱい勉強することができた。

愛媛大学 農学部 食料生産学科 前期合格

①・朝早く学校に来て勉強はおすすめ。一日が長く感じられる。私は朝 6:15 に家を出て 7 時頃から勉強していた。

- ・分からないときはすぐに先生に聞きに行っていた。
- ・センター試験は油断禁物。センター試験に大失敗して志望校を下げたけど、下げれば下げるほどセンター試験の配点比率が高くなるから結局センター試験がすごく大切。
- ・夏休みは基礎しかやらなくてもいいと思う。その代わりに基礎をがっちり固める。

②他校は私立の指定校などで国公立まで残っている人はすごく少ないと聞いた。舟入は最後までほぼ全員残っていたから頑張れてよかった。

④部活をしている 1、2 年生の間は宿題を全力でやる！

⑤【物理】

エッセンスをひたすらやり込む。夏休み中は無理して良問の風をやるよりエッセンスを完璧に。夏休み明けは良問の風に移る。私は良問の風から入ってしまって後悔したので、この流れがベストだと思う。

【数学】

数Ⅲはチョイスを繰り返してやる。A 問題を 3 周くらいしたら、基礎問題はだいたいできるようになる。

山口大学 理学部 物理情報学科 前期合格

- ①・1年生の時からコツコツと勉強をしていくことが大切だと思った。
- ・周りから、「こうすれば点が取れるよ」というアドバイスをもらうこともあると思うが、現時点で点数が取れている教科・科目については、今の取り組み方を貫いた方がいいと思います。
 - ・計画を立てて勉強をすることが大切です。
 - ・定期テストを付け焼刃で受けないようにしましょう。
 - ・自分にとって一番の反省は、モチベーションの維持でした。自分のやりたいことがなかなか定まらず、志望校へのモチベーションが維持できませんでした。どうすれば解決できるのかはこの一年間で結局わかりませんでした。やはり志望校への想いを強くもつしかないと思います。
- ②難関大を志望していましたが、大学受験自体を少し甘く考えていたところもあり、結局挑戦することすらできないという自分にとって不本意な結果に終わってしまいました。でも、周りの人たちはいつも応援してくれて本当にありがたかったです。もっと頑張れたなという後悔や反省は、受験が終わってから染みてきます。
- ③・他大学にない研究室があり、そこに学部時点で配属されるという特色であった。
- ・志望校決定に関しては、成績や親に言われたことを気にして途中で志望校を変えてしまったが、今思えば最初の大学に行きたい気持ちがまだあるので、志望校はやはり変えずに頑張った方がいいと思いました。
- ⑤【生物】
- ・教科書
- 日々の勉強、そして受験勉強においても教科書を一番活用しました。「生物」は暗記すべきことを覚えて、問題を解いていく際にそれらの知識を活用していく教科書だと思うので、まずは基本的な知識をしっかりと覚えることが大切です。その点では、教科書が一番よくまとめられているので、お勧めします。

広島大学 教育学部 第二類数理系コース AO入試合格

- ①受験は団体戦という言葉大切にしたいと思います。周りの姿勢や協力から自分自身が得るものは大きいです。また、ストレスは絶対に溜まるものなので、溜めないようにするのではなく、上手く発散する方法を見つけるのがいいと思います。自分の場合は、歌を歌うことで発散していました。部活動はしっかり取り組んでほしいと思います。3個上の先輩の言葉を引用すると、「部活は浪人できない」です。後悔したまま引退すると、受験期にも引きずると思います。目標は明確に持ってほしいです。自分の場合、模試で常に大阪大学でB判定以上、3年間のうちに京都大学B判定以上を1回以上取る、センター試験800点以上を取るということを目標としていました。目標があれば、ぶれずに努力を継続できると思います。センター試験本番では目標点に3点届きませんでした。目標がなければもっと得点は低くなっていたと思います。
- ②入試に必要な課題レポート、プレゼンなどを数学の先生をはじめ多くの先生方にサポートしてもらいました。また、協力してくれた友人もたくさんいて、受験に向けた気持ちを作っていくやすかったです。

す。全体としては、7月まで部活に残ることを許してくれるなど、両親の支えは大きかったと思います。

③ 3年9月、もともと大阪大学理学部数学科に進学し、教員になることを考えていました。しかし、教員を志望する人たちと、教育学に触れながら学んでいきたいという気持ちが強くなりました。また、入試内容から、AO入試の方が自分の特性を活かせるのではないかと思い、広島大学教育学部二類・数理系コースのAO入試の出願を決めました。出願までの準備期間は短かった方だと思うので、行動するなら早い方がいいと思います。

④ 3年間を通して、部活と勉強の両立に困ったと感じる場面は少なく、逆に部活を頑張り続けたことが勉強にも生きてきたと思います。部活動はやり直しがきかないので、できるときにしっかりとやり切り、そのうえで切り替えて受験勉強に臨むのがいいと思います。ただし、当然最低限の勉強は継続して行うべきです。

⑤ 【数学】

東京大学・京都大学を受ける人は「やさしい理系数学」はお勧めです。個人的にはYouTubeチャンネルの「ヨビノリ」や「AKITOの特異点」を勧めたいです。この二つをみれば、数学には困らないと思います。

【物理】

「エッセンス」をしっかりこなせば基礎固めはできると思います。基礎が不安な人は、繰り返し解くことが大切です。「良問の風」が解けるようになれば、中堅国公立大レベルまでの問題は解けると思います。難関大を目指す人は「名門の森」がお勧めです。解放のポイントがしっかり押さえられていてわかりやすいと思います。